

(議長)

建設水道課所管の予算及び関連議案について、補足説明を求めます。

「建設水道課長」

「建設水道課長」(補足説明)

(議長)

説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑希望ありませんか。

「小野寺議員」

「小野寺議員」

上水1件、下水関係で2件お聞きします。

数字的な事を聞いても今の状況から言ったら仕方ないので、前にも聞きましたが、見直しお聞きします。

あれは4年前、値上げをした時に、あの時は課長違いましたけれども、色々論議ありました。論議あった結果、これだけ値上げしなければならないというのを色々な政策判断も含めて、こう押さえました。

いずれにしてもあの時の、一応経営方針と言いますか、経営戦略と言いますかについてももう検証しなきゃならないですね。本当はどうに検証しなきゃならないんですが。現時点で課長があの時の計画と現状をどう捉えていて、今どのように考えていらっしゃるのか、課長の答弁なのかどうか分かりませんが。まず1点目。

それから2点目。これも下水、これも数字1つ1つ上げても仕方ないと思うんですが、町長の執行方針で下水の水洗化率、54.1%。これはこの何年間の論議で、申し訳ないんですけども、予想されている数字。残念ながら。

それで根本的に策は無いと思うんです。今の現状から言ったら。だけどそんな事言っていたら、我々の論議はもう終わりますので、あえてお聞きします。この数字を踏まえて、どう新年度検討されようとしているのか。これも毎回似たような事を聞いているんですけども。じゃあ今年どうするんだという事をお聞きしたい。

最後です。これも町長の執行方針で、下水道事業について、当面事業の再開は考えておりませんと。これもこの1~2年考えられた事ではありますが。私は限りなく事業を停止、廃止、何て言えばいいのでしょうか。近いと思っているのですが。

それで課長、大丈夫ですか。

問題はの間言っている公共下水をやろうとした、言わば「計画区域」と「そ

れ以外の区域」、それから「やろうとした区域だけれども進んでいない区域」。大きく言うと3つに分かれると思うんです。いいですね。課長ね。

そうすると、公共下水をそもそも使えない所は、生し尿処理もしくは合併処理浄化槽、これをどうするんだという論議、ずっときてますね。

それから公共下水事業で括った所、でも事実上公共下水はやれないと思われ
る所、これってかなり微妙ですよ。ちょっと教えて貰いたいです。
そこは黙って合併処理浄化槽、新しく家を作った場合にですね。そこら辺を教
えて貰いたいのですが。

いずれにしても、この3つの線引きについて、江差町として従来からの住宅、
もしくは新築時、これはちょっと違いますが。いずれにしても海に与える環境
という事を考えた場合には、合併処理浄化槽というのは当然ですよ。この政
策的な判断をどうやって整理して、推進していくかという、これも大事な問題
だけれども、同じ事を繰り返しているんですが、私は。

現時点で課長のお考えをお聞きしたいと思います。以上3つ。

(議長)

「建設水道課長」

「建設水道課長」

大きく3点ご質問いただきました。ちょっとダブる所もあると思うんですけ
れども、水道というか水行政というか、全般という事の捉え方でですね。

1つ先般の事なんですけれども、20年から24年度までの料金改定5カ年
計画ということできております。

状況も私が説明するまでもなく、水道の人口減だとか色々な部分の事で会計
そのものが非常に厳しいという部分は勿論あります。今後どうするかという事
は企業会計ですので、原則とすれば、企業会計の原則とすれば、当然**受益者負
担金**という予想になりますけれども、小野寺議員がおっしゃった様に色々な考
えや条件がある。その中で私共は数字的な押さえ、端的に言うとはですね、24、
25、今のある現金というかですね、そういった部分に対応してもですね、い
ずれにしても26年以降は非常に厳しい。端的にいうと赤字になる可能性が高
い、とすればそこに当然どちらかの負担、町なのか住民なのかという事がある。

それはですね24年度以降というは無責任な話になると思いますけれども、
そういう事も含めてですね、24年度以降ですね、どういう形にするかという
のは当然町全体で対応、検討していく。これもいつ検討するんだというのは別
に年度が26とかになっていますので、当然24年というのは一定のものは出
していくという考え。

それと下水道の関係。おっしゃる様にですね、工事が既に終わった所、計画入っている所、入っていない所、全く手をつけていない所、この部分もあります。本来下水道というのは、環境を守るという、水を綺麗にして海に流す水も綺麗にして、生活雑廃水も町の中に流さないという様な事で、大前提があった訳です。諸般の事情で、なかなか進まない。ただ今そしたらそれを、今現在工事以外に、区域に合併処理場を浄化槽でやるという様な部分で進めるという、そこまではまず判断してはございません。

基本的には、今うちらが24年度やるのが何度も言っていますけれども、加料の促進、そういったものをですね例にしながらですね、24年度を取り進めて参りたいという風に考えております。

(議長)

いいですか。

「小野寺議長」

上水、わかりました。わかりましたというか、早急な内部検討、そして議会側とも早急な検討はこれはどういう立場でも迫られているので、課長・町長宜しくお願いします。

それで合わせて上水の関係で、この何ヶ月間、漏水関係、もしかしたらその関係で消火栓というか、消防の関係も色々この間論議、というか改善しなきゃならない面もあると思うのですが、個々の事は今日は敢えて言いません。

問題は江差町の本管の敷設されている本管の図面と言うんですか、そのデジタル化と言うんでしょうか。何と言うんでしょうか。これそれこそまたお金の問題でしょうけど、だから今日明日、今年中に作れってそんな無理難題は言いませんけれども。もう一回予算審議か何かで聞いた事ありますが、決算か。もう一回その管路図と言うんですか、デジタル化。きちっとしたものを作らなかつたら、今担当者がもしかしたらですね、自分の頭の中で入って行ってやっている部分も無い訳じゃないんですよ。きつとね。図面だつてどこまで正確なのか。そういう部分の考え方をお聞きしたいと思います。

それから下水についても、後は押し問答になっちゃうかもしれませんから止めますが、ちょっと視点を変えて、町長になるかもしれません。

前にし尿処理の関係で、これはちょっとごめんなさいね。一部事務組合ですけども。し尿処理の扱いについて、公共下水の汚泥と一緒に処理するいわゆるミックス事業という事を、これはどう考えても単独でし尿処理場を新しく作るとすれば、膨大な今国の基準が厳しくなっていますから。

それから処理量も少なくなっているから。コスト的にも無理とすると公共下水との関係でやっていかなかったら駄目じゃないかなという事をこの5年、町長とですね、やりとりしてきましたが。私も最近調べたら、結構技術的にもそれから方法論も含めて、国も色々試行錯誤してやっております。それでこの間町長としての検討もしくは協議があったのか、なかったのかお聞きしたいと思います。以上です。

(議長)

「建設水道課長」

「建設水道課長」

まず図面の関係です。おっしゃる通り、データの業者の方も見えて検討というのもやっています。

ただこれはデータに限らず、水道の会計でやるべき事というのは、敷設外含めてたくさんある訳です。その中で先程申し上げた水道事業の実情というものも勘案してですね、考えています。今すぐデジタル化を導入するとは言いませんけども、当然検討課題。これはもう検討する事はいっぱいあってですね、是非やるとか問題になりますけども、当然出来る所からやっていくという形の中でですね、データについても考えていきたいと考えております。

(議長)

「町長」

「町長」

小野寺議員、上水道、上水、下水、住宅含めてですね、やりたい事はいっぱいあるんです。お金のかかる事がたくさんあるんです。しかし実態の財政状況を考えると、財布の中身は決まっているんです。決まっているだけならいいけども、それが保証されるという確約が無い訳です。そこに苦慮されている所も是非理解していただければと思っております。

ミックス事業の関係ですけども、これは構成町の中でもですね、首長さん達の段階で協議をしてみた経過がありました。

しかし端的に言いますと、事業費がかかりすぎる、かつ今あるし尿処理場をどうするのか、まだ使えないという状態ではないわけですから。それをし尿処理場在りながら下水処理場を作りながら、そして双方を活かしながらじゃあ今度はミックス事業という話はですね、なかなか3つも4つも5つも費用がかかる様な話が出てくるものですから。そういう意味では理想は理想なんです。ミ

ックス事業というのは。

その上でも関係構成町の首長さん達の段階では、あるものを少し利用していかざるを得ないだろう。こういう話合いは、一時しております。去年の段階で。ただそれ以上このミックス事業をじゃあどう展開していくのかという話はずいぶん、未熟です。

(議長)

「萩原議員」

「萩原議員」

1点だけ聞きたい事があるんですけども。

除雪についてなんですけれども。今年の冬、除雪について意見がたくさん多かったという事で、色々問題があったと思うんですけども。

ちょっと聞きたいんですけども、町道を除雪するにあたって2回も3回もかく事があったり、1回しかかかないでもうそこが一車線にしかならないとかという部分があったと聞いています。それはマニュアルでこの道路は広くしなければならぬとか、この道路は普段通らないから一車線のままでいいとかそういうマニュアルがあるかどうか、それは除雪している人の判断なのか、そこら辺をお聞きしたいと思います。

特に何か今年は雪が多かったのか、いつもと除雪が違ふとかという様な事も聞いたりしています。ここら辺お聞きしたいと思います。

(議長)

「建設水道課長」

「建設水道課長」

まず除雪。当然担当係長含めてですね、どういうコースでどういう風な除雪の仕方をやるというのは、ほぼ毎日のように打合せをしております。

ただ、雪が相手のものですから、その降り方によって、量によって、或いは風向きによってですね、都度対応も変わると。それについてはですね、ベテランの除雪担当であれば、その判断でやっている事も十分あり得ます。

それと、おっしゃった様に今年は雪が多く、非常に溶けないというかですね、本当に雪が溜まったという事ですね、本当に住民の方にも多くの方に迷惑をかけたという風に思っていますが、その中で多分残っている部分。結構私共の方にも連絡が来てですね、色々な苦情と言うよりは要望も含めてあったんですけども、基本的な部分についてはですね、やり方が決まっていますよという

事が1つ。

それと状況によっては変化するという事。

それと今年の場合は特に雪が多かったので、或いは去年と違うという印象を持たれたという事もあるかもしれませんが。

いずれにしても何かあればですね、役場の方に連絡いただければ、都度都度それに合った対応というものはしてきましたし、これからもそうしていくように考えております。

(議長)

「小笠原淳夫議員」

「小笠原淳夫議員」

1つ単純な質問ですけれども。水道料金について質問します。

水道料金を上げてからもう2～3年になるんですか。去年小野寺議員が日本一水道料金が江差は高いんだという、そういう一般質問をした事があるので、本当に日本で一番高いのかどうか、それが1つ確認したいと思います。

それから、水道の決算書を見ると、なかなか厳しい状況にあるし、またその内に値上げしないとないのかとそんな事を考えるので、その辺の見通しも1つ合わせて。2点について。

(議長)

「建設水道課長」

「建設水道課長」

答えにくい質問ではあるんですけれども、日本一ではないんです。2番なんですね。2番目なんです。それをもってすれば、高いか安いかと言ったら、当然高いという事になっています。

それと2点目の従って水道料金どうするこうするとか、先程小野寺議員の答弁にもありますけれども、企業会計ですので、経費と収入というのは当然イコールになるんです。そうすれば、当然経費がかさめば、歳入の収益、水道料金含めた中で考えていかなきゃならない。それは水道料金に全部跳ね返るものなのか、どうなのかという部分はですね、24年度中に検討したいという事でご理解願いたいと思います。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、建設水道課所管の予算及び関連議案について

の質疑を終わります。